

運営推進会議開催報告書

開催予定だった日 令和2年 3月27日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

報告・意見照会者		議 題
利用者	0名	1. 実績報告 2. 看取りについて 3. 身体拘束について
利用者家族	0名	
地域住民の代表者	3名	
市職員	1名	
地域包括支援センター職員	1名	
事業所	3名	

ご意見等のまとめ

1. 実績報告

グルーホームらく1月、2月の主な出来事について報告させていただく。

・1月に尿路感染を起こされた利用者様について

尿の臭い等確認できるような方であれば確認し、悪臭がするようであれば水分摂取量を増やす等の対応をしていってはどうか？

2. 看取りについて

看取りを視野に入れた利用者様が医療機関よりホームもどった事について

- ・家族や友人等と過ごす時間や思い出の品等を増やし、看取られる側、看取る側の気持ちを大事にする。
- ・本人の状態を見極め、好きな食べ物を時間やスタッフの考えだけに縛られることなく提供していく。
- ・回復の可能性を慎重に見極め、本人に無理のない働きかけを行っていく。
- ・回復の見込みが低いようなら、本人の意思を尊重し、あきらめではなく精一杯生き抜いたと満足できるような対応を考えていく。

等様々のご意見をいただきました。

4月14日現在上記利用者様の状態ですが、少しずつ口から物を食べるようになり、みるみるうちに元気になってこれ、多少の身体能力の低下はあるのですが、以前のように食事も食べ、おしゃべりは以前よりも元気にされるぐらいまで回復されました。

3. 身体拘束について

夜間一人で歩行できない利用者様が歩行されようとする状況について

ベッド柵(身体拘束)の利用について

- ・本人への精神的負担がかかるので慎重な判断が必要。
- ・巡視を頻回にすることから始めてはどうか？
- ・身体拘束はやはり本人に精神的負担がかかるのでやめたほうがいい。

離床センサーの設置について

- ・異変に気付くためにも導入は有効なのでは？
- ・それに頼りきってしまわないように気を付けなければいけない。

本人の意思でどかさずことできるような物を置いておく対応

- ・状況によっては仕方ないと思うが、危険が増すことのないようにする。
- ・本人の精神的負担になる可能性があるため、望ましくない対応。起き上がってしまった際に転倒するリスクを減らす環境の整備は有効。
- ・離床センサーによる気づきと、物をどかしている時間的余裕ができるので転倒リスクは減るのでは？

等様々のご意見をいただきました。

4月14日現在上記利用者様ですが、自ら起き上がる事も無くなり、用があるときはスタッフを呼んでくださるようになりました。それに慢心することなく巡視等を行って対応しております。